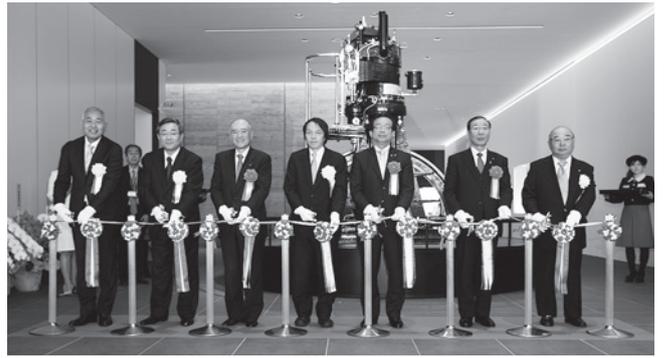


ヤンマーミュージアムがオープン



ミュージアム外観



3月21日グランドオープンでのテープカット



エンジンゾーンの小型ディーゼルエンジンの実機

ヤンマー株式会社（山岡健人社長）が創業100周年記念事業の一環として、2012年5月から創業者生誕の滋賀県長浜市に建設を進めてきた「ヤンマーミュージアム（小林文博館長）」が先頃、完成した。3月18日の竣工式に続き、3月21日、テープカット等の開館セレモニーの後、一般公開を開始した。

ヤンマーミュージアムは鉄骨造2階建てで、延床面積3,000㎡。1階の入口正面に展示した世界初のディーゼルエンジン「ドイツMAN社アウグスブルグ製実機（14.7kW）」が来場者を歓迎してくれる。その奥に160名を収容できる「研修室」がある。入口左には創業者の歩みを紹介した「山岡孫吉記念室」があり、年表順に創業者の人生とヤンマーの変遷を知ることができる。入口右には動画でディーゼルエンジンの構造を解説する「エンジンシアター」と、2階まで吹抜構造の「展示室」がある。その隣にはヤン坊・マー坊のキャラクター商品や地元名産品を販売する「カフェ・ショップ」を開設している。

そのうち、1階にある展示室では、会場を「農業（農機）」「まちづくり（建機）」「海洋（レジャー用ボート）」「エネルギー（小型ガスコージェネ等）」の4つのゾーンに分けて、トラクターや耕耘機、パワーショベル、ボートといった実

機を展示している。老若男女を問わず誰でも、ゲーム感覚で建設機械やボートの体験運転に挑戦できる。また、中・小学生向け学習用にガスコージェネやヒートポンプといったエネルギーシステムの仕組みをパネルを用いて、わかりやすく解説している。

2階にある展示室の「エンジンギャラリー」では、吹き抜けを取り囲む回廊の壁の上部に、来場者の視線の位置に合わせて、ヤンマーが開発したさまざまなエンジンやエネルギーシステムの「商品化年表」を貼り付けている。周回すると、技術開発や取扱商品の変遷が一目で理解できるよう、工夫を凝らしている。床面には「エンジン実機」や「カットモデル」を並べて展示している。

ギャラリーに隣接して、社会貢献活動の一環として「ワークショップルーム」を設けており、予約した一般来場者が利用できる。郷土の工芸教室や料理教室等の体験学習スペースとして活用されることを期待している。また、2階屋外にあるオープンスペースには季節の変化に応じて自然界の営みの変化の様子を観察学習できるよう、中・小学生向けに人工池等を造った「ビオトープ」を設けている。ミュージアムに設置したヤンマーガスコージェネから出される排熱を活用した「足湯」の体験コーナーもある。

ヤンマーミュージアムの最大の特徴は、単に眺めるだけの傍観型施設ではなく、来場者が建設機械の操作や足湯等を体験できる体験型施設とした点だ。ヤンマーでは、産業用エンジンやエネルギーシステム等の展示を通して、同社が1世紀にわたり培ってきた「ものづくりの精神」を一般来場者に伝えることができればと願っている。

ミュージアムの所在地は滋賀県長浜市三和町7-35。JR北陸本線長浜駅より徒歩10分。土日はJR北陸本線長浜駅西口よりシャトルバスを運行している。バスで20分。入場料は一般600円、中・小学生300円、未就学児無料。20名様以上の団体は各100円割引。営業時間は10時～18時（月曜日休館）。問合せ先：☎0749-62-8887。



まちづくりゾーンの建設機械の体験ゲーム



海洋ゾーンの操船シミュレーター